

戦争法廃止を一平和の街・城崎町からスタート

◇4日、兵庫県境の豊岡市側の河梨峠で京都府京丹後市からの国民平和行進(日本海コース)の引き継ぎが行われました。引継ぎ集会では、但馬原水協の福井茂夫会長と兵庫県実行委員会の梶本修史事務局長があいさつ。参院選最中の平和行進として、非核・戦争しない日本をつくることを力強く訴えようと決意を述べました(写真右)。兵庫県の平和行進は城崎町でスタート。但馬原水協の西野事務局長、木下哲学・前城崎町議が、今年亡くなった古地・豊岡市議(旧城崎町議)を偲んで、城崎町で町民過半数の核兵器署名をやりとげ、平和行政を前進させた功績を引き継ごうと訴えました。



兵庫県内通し行進の賀川純子さん(年金者組合)が、出発にあたって「被爆者の訴え」を読み上げ、平和の世論を広げようと決意表明。古地市議のご遺族が行進の先頭に立って温泉街の店々、観光客に訴えました。



☆夕刻、豊岡市の「じばさんプラザ」前での出発集会で、梶本事務局長が、平和行進の中で参院選でも注目を集める戦争

法廃止の世論を広げることを訴え。雨模様の中を行進がスタートしました。

【非核平和都市に関する決議／川西市議会】

世界中の人々が等しく平和な暮らしを営むことは、人類共通の願いです。それにもかかわらず、地球上の全生命を滅ぼしてもなお余るほどの核兵器が蓄積され、世界の平和に深刻な脅威を与えています。わが国は世界で最初の核被爆国として、核兵器と戦争の恐ろしさを全世界に訴え、その惨禍を絶対に繰り返させてはなりません。

私たちは先祖から受け継いできた猪名川の清流、豊かな緑、そして人類共通の財産である青く美しい地球を永遠に守り続けていくためにも、核兵器をつくらず・持たず・持ち込ませぬ「非核三原則」を遵守するとともに、恐るべき核兵器の廃絶を願い、人と人が憎しみあい傷つけあうことのない世界の創造を求めて、ここに市民の総意のもと、川西市を「非核平和都市」とすることを宣言します。

平成元年7月14日

川西市

【核兵器廃絶平和都市宣言／宝塚市議会】

清くすみきった空、清らかな武庫川の流れ、緑あふれる六甲・長尾の山々…。この素晴らしい自然と明るくおだやかな暮らしは宝塚市民すべての願いです。このような私たちの願いに反し、世界では依然として、人間同士の悲しむべき争いが絶えず、しかも地球上の全生命を滅ぼすことのできる核兵器が蓄積されてきました。しかし、人類の平和への切実な願いが全世界に高まり、大きなうねりとなって、ようやく戦略核兵器の縮小や、各地域の紛争解決への明るい兆しが見えようとしています。私たちは、このようなときにこそ、戦争を、そして核兵器をなくし、世界の恒久平和を強く願わずにはいられません。ここに、宝塚市は憲法の平和精神に基づき、恐るべき核兵器の廃絶を願い、永遠の平和社会を築くことを誓い、「非核平和都市」とすることを宣言します。

平成元年3月7日

宝塚市

本日のコースの沿道募金実績 川西→宝塚 20115年/14,450円、02年/44,921円、00年/48,958円

明日八日(木)のコース=約20キロ *宝塚市役所(9時集合、9時半発)ー休憩・伊丹スポーツセンター(10時45分頃/伊丹側と引継)ー陸上自衛隊西側(要請書提出)ー伊丹市役所(12時着、12時40分出発集会)ー休憩・いたみホールー休憩・塚口長溝公園(14時45分/尼崎と引継)ー休憩・尼崎市役所(16時半頃)ー三和本通りー阪神尼崎駅北(18時頃)⇒平和行進歓迎の「ピース・バーベキュー」